



広報

はにゅう



2008年(平成20年) 12 No. 662

羽生の身近な自然

主な内容

- P 2 平成21年5月21日から裁判員制度がスタート
第26回藍のまち羽生さわやかマラソン大会
参加者とボランティアを募集
定額給付金の給付を装った「振り込め詐欺」
等にご注意ください
- P 3 受賞おめでとうございます
平成20年度防火ポスターの表彰
市長偶感
- P 4・5 市の人事行政の運営状況を公表します
- P 6 市民レポーター
北“彩”タウン情報
- P 7 保健センターニュース

成虫で越冬する小さなチョウ。はねの先が他のチョウに比べとがっている。食草はクズやフジ。
はねの裏の色が銀白色で、飛ぶと美しい銀色に見えることからこの名が付けられた。写真は雌の表側。
市内では、シラカシの木の周りを飛び回っている姿をよく見かける。暖地性のチョウで、温暖化の影響か以前に比べ市内でも増えてきている。
(羽生の自然を楽しむ会)



ウラギンシジミ(シジミチョウ科)



羽生市商工まつりと 農業まつりを開催

11月3日(祝)、プラザ通り歩行者天国を会場として、羽生市商工まつりが開催されました。市内商店会や各種団体による催し、郷土芸能の発表や南小鼓笛隊、西中学校吹奏楽部による演奏などが行われました。

また、11月23日(日)には、JAほくさい本店において農業まつりも開催されました。農家の皆さんが丹精込めて作った農産物の品評会や展示即売会、新鮮な野菜の販売、おいしい新米のおにぎりや豚汁、つきたてお餅の販売などが行われました。

両日とも、温かな過ごしやすい天候に恵まれ、多くの家族連れなどが秋の一日を満喫しました。



◀みごとピタリ賞「うれしい！」
「新米まつり」のコーナーでは、お米の重さをピタリと当てれば、おいしい「彩のかがやき」2kgがプレゼントされました。

人口と世帯数(12月1日現在)

人口	57,636人	(31)
男	28,835人	(36)
女	28,801人	(+ 5)
世帯数	20,960世帯	(+ 3)
出生(11月中)	34人	
死亡(")	43人	



友好都市福島県金山町の皆さんも商工まつりに参加して、地場産品の販売や手打ちそば、けんちん汁の無料試食などで友好を深めてくれました。

